



サステナブルな観光施策を考える ～岡山県浅口市の事例研究～

11月8日 木 15:00～17:00

「クールジャパン・おもてなし分科会」の第3回セミナーをとっとり・おかやま新橋館で行いました。ゲストに岡山県浅口市の栗山康彦市長にお越しいただく予定でしたが、前日に体調不良との連絡で急遽、松田勝久副市長に代理でご出席いただくことになりました。

【第1部】講演「天文のまち浅口の観光施策」



●講師：岡山県浅口市 松田 勝久 副市長

「東アジア最大の望遠鏡をもつ天文台がある岡山県浅口市。しかし人気観光地の倉敷市と尾道氏に挟まれ、観光客誘致のための施策を模索中。新たな投資についても、継続するランニングコストが課題となり、思い切った施策に乗り出すための壁となっている。今ある地元の資源をなんとかうまく活用し、インバウンド誘致につなげたい。」（概要）

【第2部】分科会プレゼンテーション



●プレゼンテーションメンバー

- 1) 朝日新聞社 デジタル・イノベーション本部
プロデューサー 白鳥 淳子 氏
- 2) 株式会社オムニバス セールス Div.
マネージャー 岩井 亮 氏
- 3) 毎日放送 東京支社 テレビ営業センター 営業開発部
部長 吉廣 貫一 氏
- 4) 一般社団法人大雪カムイミントラDMO
アドバイザー 村松 知木 氏

【第3部】パネルディスカッション「サステナブルな観光施策を考える」



●松田副市長を囲んで意見交換

浅口市に行ったことがあるのは会場内で1名のみ。全国における知名度が低く、人口35000人の小さな市に観光に来てもらうには、まずはどうするか。ターゲットングの上、そこに何を訴求するか。浅口市の「天文台」「牡蠣」「手延べうどん」「ストロー」など、観光資源と地場産業をどのように見せていくか。メンバーから様々な意見が出されました。

今年度の本分科会活動はこれで終了となります。関係者の皆様に感謝申し上げます。